

地域医療連携室だより

2018年度 第3号 10月



今話題の「アドバンス・ケア・プランニングについて」

～地域のケアマネも招待し金子副院長が職員研修で講演～

次回研修は「ACPの実践例について」との希望の声もあがる！



講演中の金子副院長

当院では、職員研修の一環として「認知症研修会」を開催しており、能代山本郡内の居宅介護支援事業所職員の方々にもご参加いただいておりました。今年度より、「認知症」という言葉のみに捉われず、幅広い意味で支援を行っていくという考え方から、「高齢者研修会」と改題し、開催することとなりました。

第1回は、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について」をテーマとし、金子副院長が講演しました。

アドバンス・ケア・プランニングとは、患者様の価値観、人生の目標、今後の医療に関する意向を理解し、共有するための「過程」とされており、重い疾患や慢性疾患にかかった際に、価値観や目標、意向に沿った医療を行うことと密接に関連しています。金子副院長は、アドバンス・ケア・プランニングの実際について、患者様やご家族の価値観や意思決定能力を知るための聞き方・話してもらう力・伝える力等、コミュニケーション技術について話していました。私も今回の講演を聞き、患者様1人ひとりと深く関わり、実際にコミュニケーションを取り続けることの重要性を改めて感じることができました。

研修終了後に回収したアンケートでは、研修内容について「理解できた」、「次回も参加したい」と回答した方が多く、テーマや講義に対する全体の評価は好評でした。

また、次回の研修では「アドバンス・ケア・プランニングの実践例について」の内容を希望するという声も上がっており、今後このテーマについて関心が寄せられていることが考えられます。このような研修を通し、医療と介護、病院と地域との繋がりを深めて参りたいと考えておりますので、今後ともご参加の程よろしくお願ひします。

（医療社会事業専門員 小野昌哉）



メモをとるケアマネのみなさま

職場体験で高校生が多数来院！

能代市の高校では、いろいろな場所で行う職場体験が盛んに行われています。当院にも将来の医療従事者を目指して職場体験に市内の各高校生が訪れました。

職場体験当日は、初め全体の講習を受け、その後目指す職種ごとグループに分かれ担当する看護師や各技師の指導を受けました。患者さまの車イス移動を手伝った高校生に患者さまが「ありがとう」と言うと、

高校生はニコニコと喜んでいました。

今回の体験を活かして下さることを願っております。



出前講座まだ募集中

今年度第1回の出前講座が、6月25日(月)10時から常盤地域センターで行われました。テーマは「クスリに関する知識」について、講師は茂野薬剤科長がつとめました。

第2回は8月31日(金)10時から三種町八竜の医療法人・徳洲会 ドラゴンクリニックで加藤美由紀糖尿病看護認定看護師(当院人工透析看護師長)が「糖尿病を持つ方を介護するためのしつておきたいポイント」について講座を行いました。まだまだ、出前講座募集しておりますので、ご希望の施設、機関、町内等の方はJCHO田病院 Tel0185-52-3271(代表)

の地域医療連携室にご連絡ください。



掲示板

地域医療連携室 梶田宏人

ユニフォームを“リニューアル” ～訪問看護ステーション～

当院の訪問看護ステーションのユニフォームが、シャツは優しいピンク色と品のある紺色にパンツはクリーム色と紺色にリニューアルされました。これでT(時)・P(場所)・O(場合)にあわせて使い分けることができるようになりました。

現在24時間体制で地域の皆さまの在宅での療養生活の支えとなっております訪問看護ステーション。リニューアルされたユニフォームで気持ちも新たに頑張ります。

ご相談は

0185-52-1460(直通)
にお電話ください。



爪、角質などの足トラブルに対応 ～フットケア外来は月曜午前～

9月10日(月)からフットケア外来が始まりました。内容は足の爪、角質などの足のトラブルに関してのご相談を承ります。

外来日は毎週月曜日午前です。場所は第3診療室(通称・木の部屋)。完全予約制で、初めて受診される方は整形外科医師の診察を受けてからになります。

受付・相談窓口はJCHO秋田病院

Tel0185-52-3271(代表)

地域医療連携室まで

ご連絡ください。

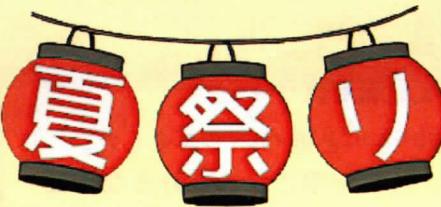




附属介護老人保健施設コーナー



**午前は金魚すくい、
輪投げ、紐引き**



**午後はボランティアの
みなさま30人の踊り**

毎年恒例の附属老健・夏祭りを開催しました。午前中はレクリエーション委員を中心に、金魚すくい、輪投げ、紐引きの用意をして準備完了！



輪投げ入ったかなぁ？

ちょうどちんに灯りを入れると館内は一気にノスタルジックな雰囲気へと導かれます。金魚すくいの出目金や小赤たちの元気に泳ぐ姿に誘われて、利用者さんも童心に返りついはしゃぎ気味に。年輪を重ねてもキラキラした笑顔を見せる利用者さんたちにスタッフも自然と笑顔がこぼれます。



午後はいよいよメインイベント、退職婦人教職員連絡協議会と養蚕自治会婦人部のボランティア総勢30人による踊りです。きらびやかな衣装のご婦人方の登場に館内は華やかな雰囲気に包まれ否が応でも熱気が上がりります。息のぴったりあった踊りに利用者さんたちも手拍子で応じます。「きよしのズンドコ節」では「きい・よお・しい～」の掛け声も上りました。今年の夏の思い出は何でしたか？との司会者からの問い合わせにあがったのは



退職婦人教職員連絡協議会のみなさま

金足農業の準優勝！今年の秋田の夏は暑かった！演目の途中にはババヘラアイスが配られ、手拍子と掛け声にのせられて火照った体と喉を潤しました。

締めはおなじみ「新能代音頭！！」お別れを惜しみ利用者さんたちを囲むように歩きながら踊り、一人ひとりとハイタッチ！また来年元気に会いましょう～と笑顔に包まれたますすべての演目が終了しました。ちょうどちんの灯りが館内の熱気の余韻を照らしつつ、今年の夏祭りも無事に終了しました。来年の夏も盛り上がりましょう!!

（介護老人保健施設管理補佐 橋本正明）



※利用者様の写真については、ご本人、ご家族の承諾を得て
掲載させていただきました。

養蚕自治会婦人会のみなさま

職員ペンリレー

「平成の仮面ライダー」鑑賞が楽しみ！

～若手俳優の一生懸命な姿に元気を貰う～

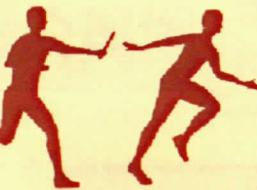
暑かった夏も終わり、徐々に寒い冬へと近づいてきました。

ドラマを見るのが好きなので、この時期になると好きな作品が終わってしまい少し悲しいですが、また素敵なお出会えるかと思うと、とても楽しみです。

特に楽しみにしているのが、平成仮面ライダーシリーズです。今や若手俳優の登竜門と言われるとおり1年間を通して役者として成長を見るのも楽しみですが、各監督によって個性の出る演出やドローンを使ってのカメラワーク、そして1年間を使ってじっくり描かれる物語の、戦争、命、家族など毎年違ったテーマは、子供だけでなく大人でも楽しめます。

特に1年間を通して成長した前作のライダーと初々しさの残る今作のライダーが一緒に戦う冬の映画は毎年楽しみにしています。なんと、今年の公開日は私の誕生日なので今からわくわくしています。役者の方々の一生懸命な姿に元気を貰いながら、自分も日々頑張りたいと思います！

(健康管理センター事務 藤原綾香)



独立行政法人地域医療機能推進機構
秋田病院
地域医療連携室
秋田県能代市緑町5-22
電話：0185-52-3271（代表）
FAX：0185-54-7892（代表）
FAX：0185-54-1266（連携室直通）

編集後記

高松：全国的にACPの高まりを実感していますが、学び始めると奥が深くて簡単には語れません。

塚本：楽しかった夏祭りの時期も過ぎましたが、我が家では、まだ「わっしょい！」が流行中です。

安藤：この夏感動を与えてくれた金農ナイン本当におつかれさま♡そしてありがとう。

小野：春夏秋冬、どの季節も楽しみがあります。秋は紅葉を見に行きたいです。

袴田：災害はもういりませんが、対応する警察、自衛隊、消防、ボランティアの方に敬意を表します。